

日刊建設産業新聞

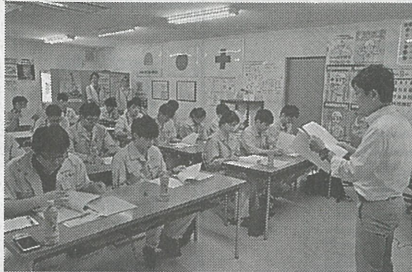
(3) 2019年(令和元年)9月12日(木曜日)

間違いを見抜く目を養う

東北整備局職員ら参加

JSCA鉄筋モックアップ研修会

東北地方整備局や東北6県の建築関係行政職員を対象にした鉄筋モックアップ研修会が6日、日本建築構造技術者協会(JSCA)東北支部(平山浩史支部長)の鉄筋研修施設(サンエーテック工場敷地内)で開催



された。

研修会は、東北プロック営繕主管課長会議の呼びかけで、若手建築技術者を対象に今回初めて開催。東北整備局や東北各県、仙台市の発注機関から担当者24人が参加。JSCA鉄筋モックアップ

事業委員会のメンバー5人が講師となり、背筋検査方法や配筋標準図のチェックポイントなどの座学から、配筋検査実習を行った。

鈴木健由東北整備局営繕部整備課長は「構造耐力上重要な鉄筋について、材料、加工、組み立て、さらにモック

クアップ施設で実際に配筋検査を体験することで間違いを見抜く目を育ててほしい。通常業務では学べないことも多く、非常に貴重な機会」と語った。

10月9日に第2回研修会が予定されている。